

平成22年 2月 1日

農学先端研究フォーラム

ファイトジーンの可能性と未来Ⅱ

植物の遺伝子組換え技術は、今後の植物科学の最も重要な分野の一つです。今回のフォーラムは、わが国の遺伝子組換え植物の基礎研究成果を、将来実用化に結びつけるための具体的な提案が出来る講師をお招きして、今後のこの分野の方向性を広く理解するとともに、香川大学で行われている植物遺伝子関連の研究を紹介することを目的としています。参加無料ですので、ふるってご参加ください。

1. 日時 平成22年2月12日(金) 13時15分～17時00分

2. 会場 サンポートホール高松 6階61会議室

3. 内容 ◇基調講演

「日本における遺伝子組換え植物の商品化」

松田 吉家 グリーンゴールドバイオシステム株式会社
取締役開発部長

◇研究報告

「イネの害虫利用術」

五味 剣二 香川大学農学部助教

「モデル植物シロイヌナズナを用いた環境ストレス応答 MAP キナーゼ経路の解析」

市村 和也 香川大学農学部准教授

「イネ栽培化遺伝子の単離と栽培化過程で失われた遺伝子の再利用」

杉田(小西) 左江子 香川大学農学部准教授

「野生イチゴを利用した花芽分化の制御が可能な夏採り用新品種の育成について」

柳 智博 香川大学農学部教授

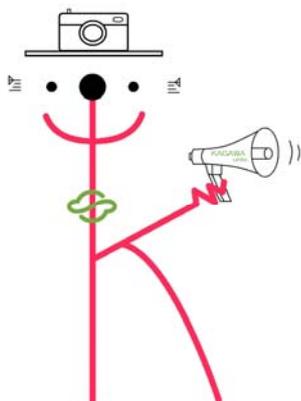
「未利用遺伝資源を用いた特異的な花色発現を示すシクラメン育種素材の開発」

高村 武二郎 香川大学農学部教授

○司会 香川大学農学部 秋光 和也

4. 参加費 無 料

5. 主催 香川大学農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター



➤ 問い合わせ先

香川大学農学部庶務係 藤沢・松下

TEL : 087-891-3008 FAX : 087-891-3021

E-mail : ashomu2@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

農学先端研究フォーラム

ファイトジーンの可能性と未来Ⅱ

Phytogene

とき 平成22年2月12日(金) 午後1時15分~5時00分
ところ サンポートホール高松 6階 61会議室
参加費 無料

◆基調講演

「日本における遺伝子組換え植物の商品化」

松田 吉家 グリーンゴールドバイオシステム株式会社
取締役開発部長

◆研究報告

「イネの害虫利用術」 五味 剣二 香川大学農学部助教

「モデル植物シロイヌナズナを用いた環境ストレス応答MAPキナーゼ経路の解析」
市村 和也 香川大学農学部准教授

「イネ栽培化遺伝子の単離と栽培化過程で失われた遺伝子の再利用」
杉田(小西) 左江子 香川大学農学部准教授

「野生イチゴを利用した花芽分化の制御が可能な夏採り用新品種の育成について」
柳 智博 香川大学農学部教授

「未利用遺伝資源を用いた特異的な花色発現を示すシクラメン育種素材の開発」
高村 武二郎 香川大学農学部教授

●司会 香川大学農学部 秋光 和也

主催：香川大学農学部
農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター

<http://www.ag.kagawa-u.ac.jp/phytogene>

問い合わせ先 香川大学農学部庶務係 087-891-3008 まで